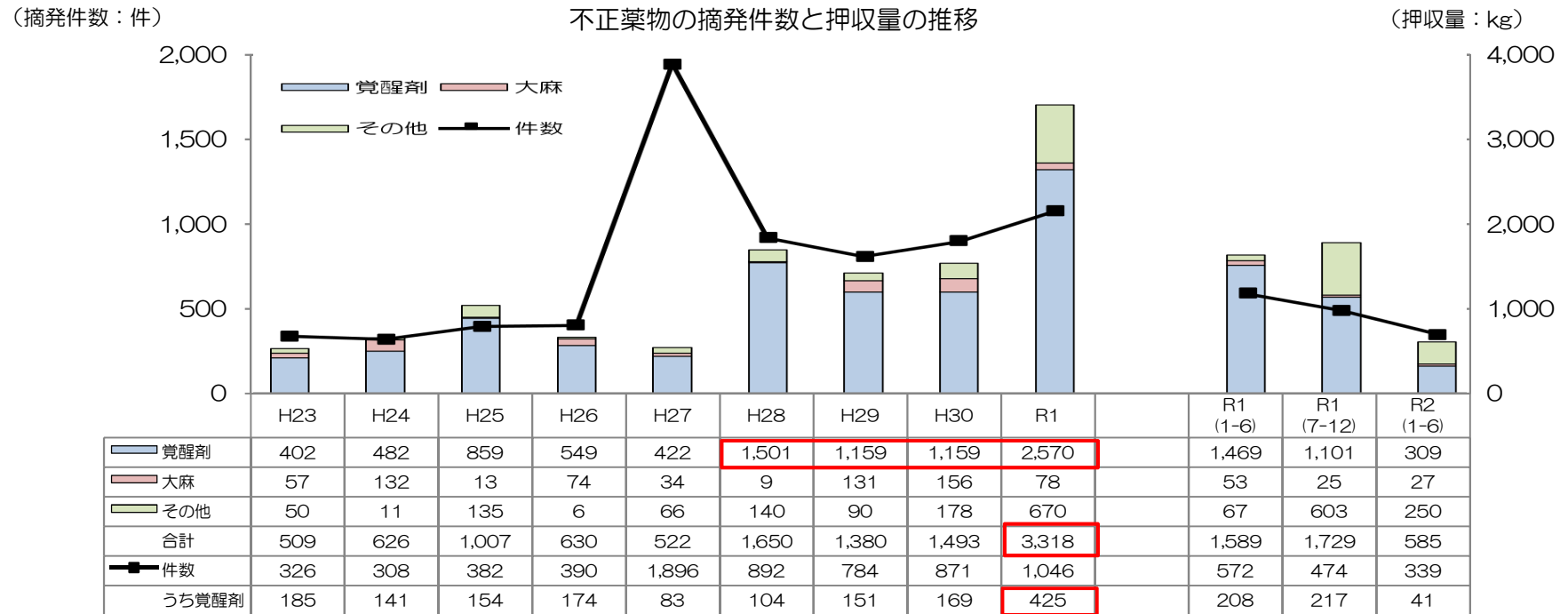


財務省・税関における取組状況

令和2年11月
財務省関税局

不正薬物の摘発状況

- 令和元年における不正薬物の押収量は、史上初めての3トン超え。
特に、覚醒剤は、摘発件数が425件と過去最高を記録し、押収量についても史上初めて2.5トンを超え、4年連続の1トン超え(平成28年～令和元年)。
(参考1) 押収した覚醒剤は、薬物乱用者の通常使用量で約8,566万回分、末端価格にして約1,542億円に相当
(参考2) 覚醒剤の国内押収量全体(約6,946kg)に占める密輸押収量(約6,810kg)の割合は約98%(平成27～令和元年累計)
- 令和2年1～6月における不正薬物の摘発件数、押収量は共に減少。



(注) その他とは、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン等)、向精神薬及び指定薬物をいう。
令和元年、2年は速報値。

不正薬物の摘発状況

種類	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年		前年同期比	
						(1-6月)	(7-12月)		
覚醒剤	件	104	151	169	425	208	217	41	20%
	kg	1,501	1,159	1,159	2,570	1,469	1,101	309	21%
大麻	件	118	171	218	241	137	104	94	69%
	kg	9	131	156	78	53	25	27	50%
大麻草	件	81	115	128	110	62	48	41	66%
	kg	6	117	143	61	38	24	7	18%
大麻樹脂等	件	37	56	90	131	75	56	53	71%
	kg	3	13	13	17	15	2	20	132%
麻薬	件	182	170	225	209	135	74	88	65%
	kg	121	82	161	656	55	601	89	162%
	千錠	1	2	32	61	28	33	64	231%
ヘロイン	件	6	6	8	5	1	4	2	200%
	kg	0	70	1	17	15	2	0	0%
コカイン	件	12	24	58	52	24	28	13	54%
	kg	119	10	153	638	40	599	87	220%
MDMA等	件	27	48	59	67	48	19	38	79%
	kg	1	0	5	0	0	0	1	523%
	千錠	1	2	32	61	27	33	64	234%
ケタミン	件	20	18	17	26	17	9	11	65%
	kg	1	0	1	0	0	0	0	164%
その他麻薬	件	117	74	83	59	45	14	24	53%
	kg	1	1	0	0	0	0	0	454%
	千錠	0	0	1	0	0	0	0	4%
向精神薬	件	11	17	38	6	6	-	1	17%
	kg	-	0	0	-	-	-	-	-
	千錠	2	4	26	0	0	-	1	452%
指定薬物	件	477	275	221	165	86	79	115	134%
	kg	19	8	17	15	13	2	161	13倍
合計	件	892	784	871	1,046	572	474	339	59%
	kg	1,650	1,380	1,493	3,318	1,589	1,729	585	37%
	千錠	3	6	58	61	28	33	65	233%
(参考) 使用回数	万回	5,405	4,638	4,427	10,896	5,200	5,696	1,347	26%

1. 税関が摘発した密輸入事件の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
2. 端数処理のため数字が合わないことがある。
3. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
4. 令和元年、2年の数値は速報値である。

令和2年上半期の不正薬物のトピックス

コカイン、MDMA等の麻薬及び大麻樹脂等の押収量が増加

- 大麻樹脂等(大麻リキッド等的大麻製品を含む。)の押収量は約20kg(前年同期比32%増)と増加し、**上半期で前年の押収量を上回った。**
- MDMA等(MDA、MDEを含む。)の押収量は約6万4千錠(前年同期比約2.3倍)と増加し、**上半期で前年の押収量を上回った。**
- コカインの押収量は約87kg(前年同期比2.2倍)と**増加した。**

(事例1) 大麻リキッドを摘発

アメリカから到着した国際郵便物に隠匿された
大麻リキッド約2g
を摘発した。
(令和2年5月・門司税関)



(事例2) MDMAを摘発

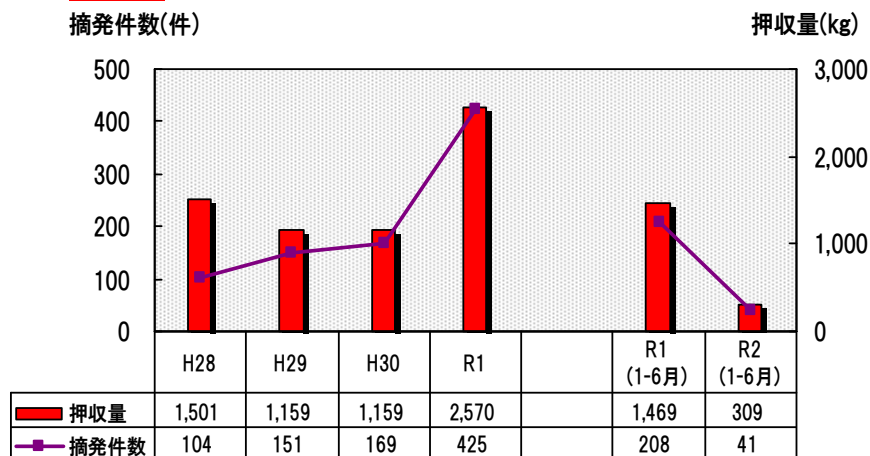
オランダから到着した国際郵便物2個に隠匿された
MDMA約9千錠
を摘発した。
(令和2年1月・横浜税関)



覚醒剤、大麻、麻薬及び指定薬物の摘発実績

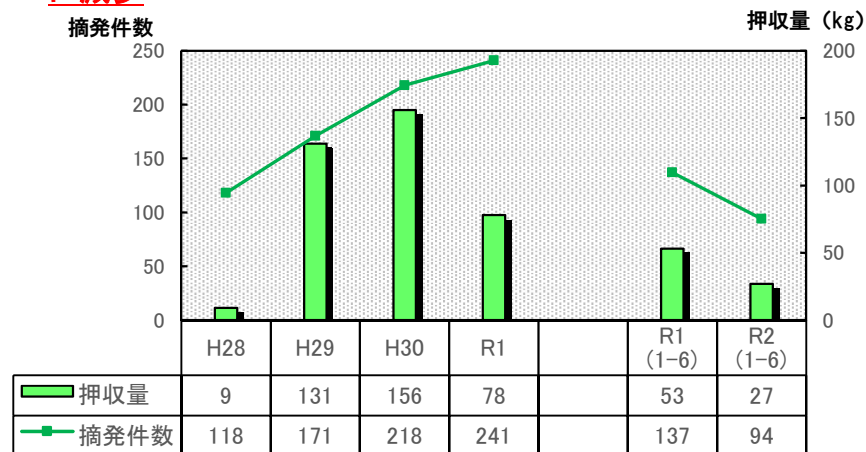
【覚醒剤】

☆ 令和2年上半期の摘発件数は41件(前年同期比80%減)、押収量は約309kg(前年同期比79%減)と、**件数・押収量ともに減少**



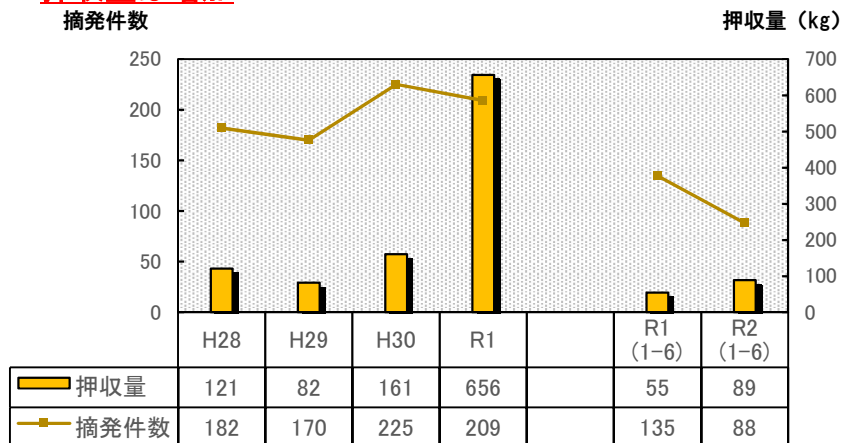
【大麻】

☆ 令和2年上半期の摘発件数は94件(前年同期比31%減)、押収量は約27kg(前年同期比約5割減)と、**件数・押収量ともに減少**



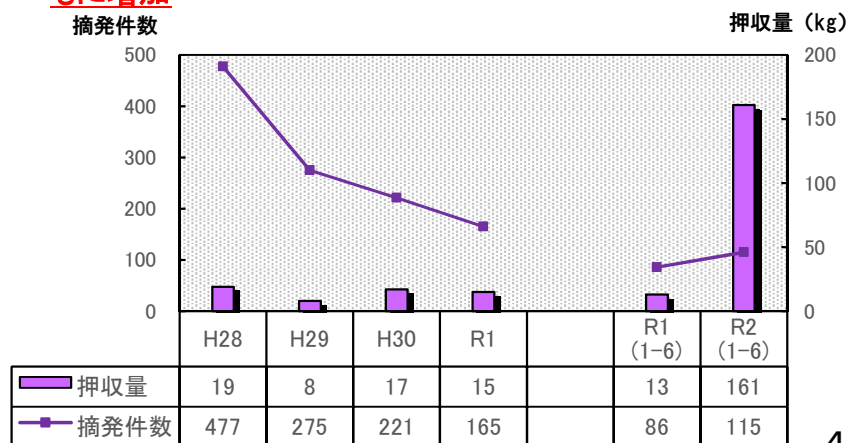
【麻薬】

☆ 令和2年上半期の摘発件数は88件(前年同期比35%減)、押収量は約89kg(前年同期比62%増)と、**件数は減少するも押収量は増加**



【指定薬物】

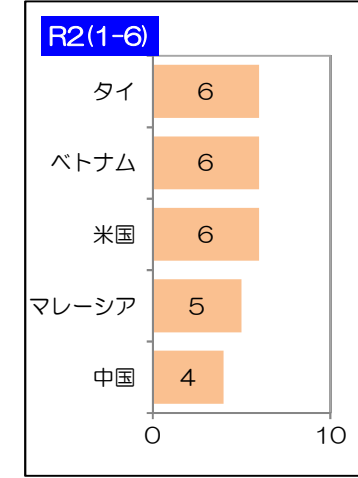
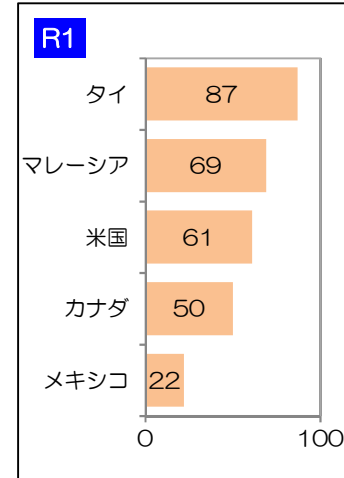
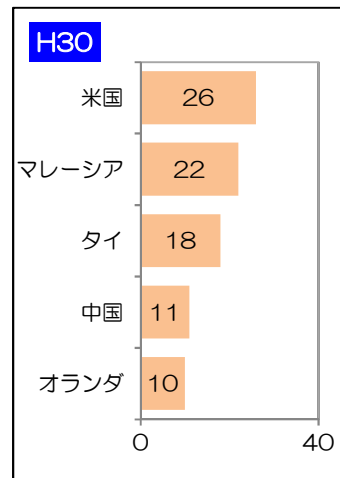
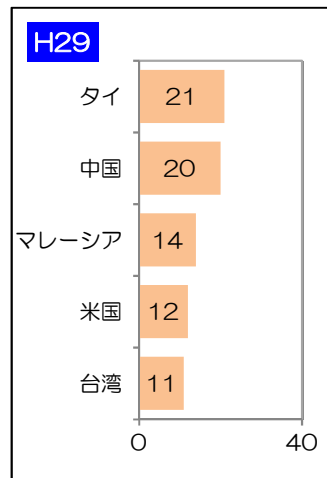
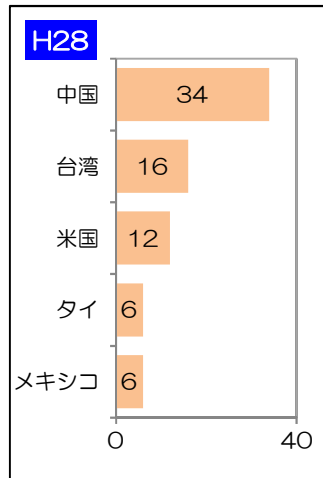
☆ 令和2年上半期の摘発件数は115件(前年同期比34%増)、押収量は約161kg(前年同期比約13倍)と、**件数・押収量ともに増加**



覚醒剤の密輸仕出地

仕出地別摘発件数の推移(上位5ヶ国)

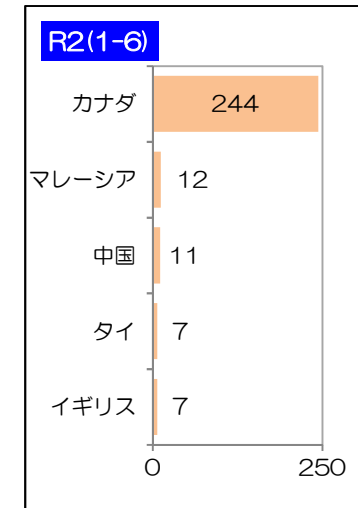
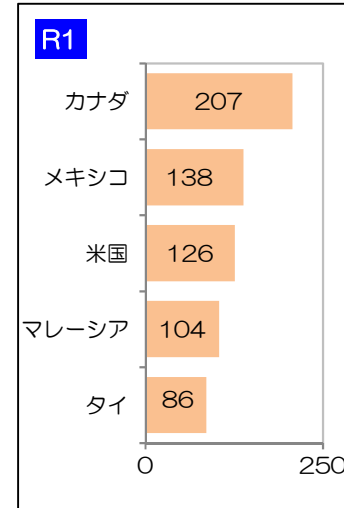
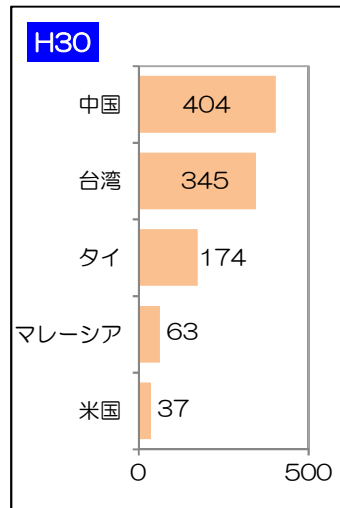
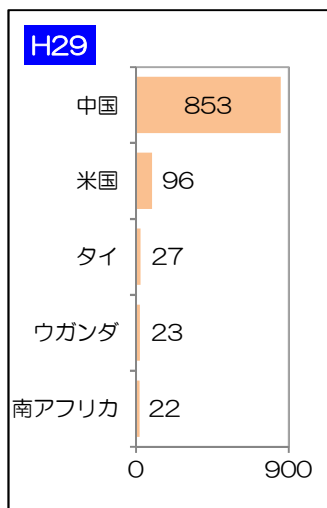
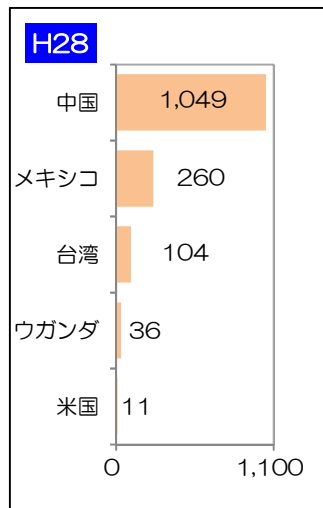
(摘発件数:件)



(注) 第5位が複数の場合は、押収量が最も多い国・地域を記載

仕出地別押収量の推移(上位5ヶ国)

(押収量:kg)



(注1) 端数処理の結果、同数である場合は、実数で比較

(注2) 仕出地域判明分のみで作成

令和2年上半期の不正薬物の主な摘発事例

(事例3) 海上貨物

関東信越厚生局麻薬取締部と合同で、カナダから到着した海上コンテナ貨物より、ぼたん海老等と記載のある箱に隠匿された**覚醒剤 約239kg**を摘発した。

(令和2年1月・東京税関)



(事例4) 海上貨物

エクアドルから到着した海上コンテナ貨物（バナナ）より、コンテナ内に隠匿された**コカイン相当量（約700塊）**を摘発した。

(令和2年4月・横浜税関)



(事例5) 航空貨物

アラブ首長国連邦から到着した航空貨物（テーブル）より、天板に練り込まれて隠匿された**覚醒剤約6kg**を摘発した。

(令和2年1月・東京税関)



(事例6) 航空機旅客

タイから中部国際空港に到着した旅客のリュックサックに隠匿された**覚醒剤約1kg**を摘発した。

(令和2年2月・名古屋税関)



啓発活動

○薬物乱用防止教室・税関見学受け入れ

小中高等学校への出張授業や税関見学時に、税関の役割や業務、薬物乱用防止について説明を実施



○リーフレット・ポスター

キャンペーン実施時には、リーフレットを配布し、不正薬物の密輸防止について注意喚起を実施



○動画コンテンツの作成

税関行政の理解を深めるため、一人の税関職員を主人公に、職務に邁進する姿を描いたパラパラ漫画を作成。



税関検査場電子ゲート

➤ 不正薬物等に対する厳格な水際取締りと、円滑な通関を両立するため、先端技術を積極的に活用。



- ・ 人・人接触を軽減することから、新型コロナウイルス感染症対策として有用。
- ・ ITを活用し、旅客の通関を自動化。
 - － 携帯品申告書は、電子的提出が可能
 - － 検査においても、事前情報等を活用
 - － 顔認証による本人確認の実施
- ・ 2020年10月現在、成田、関西、羽田、中部、福岡、新千歳に配備。
(2021年3月末までに那覇にも配備予定)

税関申告アプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードして、案内に従って入力すると「携帯品・別送品申告書」の情報が含まれたQRコードを作成することができます。

※税関申告アプリは以下のQRコードからダウンロードしてください。



<https://itunes.apple.com/jp/app/id1454991621>



<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.customs.EGateMobile>

